

All Japan Road Race Championship 2021
RACE REPORT

SDG Motor Sports Racing Team HARC-PRO.

■SDG Motor Sports RT HARC-PRO. Media Information
2021 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第1戦
SUPERBIKE RACE in MOTEGI

栃木県・ツインリンクもてぎ (1周=4.801379km)

4月3日(土): 公式予選・JP250 決勝

4月4日(日): 決勝

観客動員数: 13,000人 (2日間合計)

ST1000クラス #5 榎戸 育寛

マシン: Honda CBR1000RR-R タイヤ: DUNLOP

予選: P.P. (タイム: 1分50秒052)

決勝: 11位

J-GP3クラス #3 成田 彬人

マシン: Honda NSF250R タイヤ: BRIDGESTONE

予選: 8番手 (タイム: 2分02秒145)

決勝: 9位

ST600クラス #35 千田 俊輝

マシン: Honda CBR600RR タイヤ: BRIDGESTONE

予選: 24番手 (タイム: 1分56秒289)

決勝: 12位

MFJ CUP JP250 国際クラス #71 赤間 清

マシン: Honda CBR250RR タイヤ: DUNLOP

予選: 15番手 (タイム: 2分15秒875)

決勝: 15位 (インタークラス: 8位)

MOTEGI
TWIN RINGS



All Japan Road Race Championship 2021 RACE REPORT

SDG Motor Sports Racing Team HARC-PRO.

SDG 榎戸育寛がコースレコードでポールポジション! レースは波乱の展開に!?



SDG Motor Sports RT HARC-PRO.

2021年シーズンの全日本ロードレース選手権が栃木県・ツインリンクもてぎで新型コロナウイルス感染防止策を取り、予定通り開催された。昭和電機株式会社 HARC-PRO. をバックアップするチーム名は、新たに「SDG Motor Sports RT HARC-PRO.」としてエントリー。ライダーは、昨年に引き続き榎戸育寛がST1000クラスに、J-GP3クラスには、昭和電機社員でもある成田彬人、昨年はSDGジュニアチームからJ-GP3クラスに参戦していた千田俊輝がST600にスイッチして参戦。そして絶対エースである赤間清がMFJ CUP JP250を継続し、4人体制で臨む。また、SDG Motor Sports Jr. Teamからは、山田尚輝と小倉真士がエントリーした。



JP250 #71 Kiyoshi Akama

昨年、4月のテストで転倒し大腿骨を骨折していた榎戸は、コロナ禍で開幕戦が8月になったことでレースに参戦できていたが、大晦日にモトクロストレーニング中に転倒し、再度同じ場所を骨折。3月の初テストの直前まで松葉杖をついている状態だったが、ギリギリ開幕戦に間に合わせる事ができていた。

成田は、プリチエスタイヤを履くのが初めてということもあり、まずは、その特性を理解するところからスタート。昨年ランキング3位となった実力を持っているだけに公開テストでも走る度にタイムを上げてきていた。ST600デビューとなる千田もマシン、そしてワンメイクの溝付きスポーツタイヤをどう使ってライディングするか17歳の頭をフル回転させて学んでいた。



ST600 #35 Toshiki Senda

レースウィークは、天候は安定していたが日曜日だけ雨が降る予報。木曜日の特別スポーツ走行からSDGライダーたちは、マシンセットに集中して行った。

土曜日の公式予選でアクシデントが起こる。J-GP3の成田がセッション終盤にタイムアタックに入ると、気合いが入りすぎてしまいヘアピン立ち上がりでハイサイド転倒。左のかかとを強打してしまう。一方、ST1000の榎戸は、セッション序盤にタイムアタックに入るとコースレコードを更新する1分50秒052をたたき出す。このタイムを上回るライダーは現れず、開幕戦をポールポジションからスタートすることになっていた。



J-GP3 #3 Akito Narita

日曜日に行われた決勝。この日、最初のレースとなったJ-GP3クラスに出走した成田は、左足を痛めていたためギアシフトをしにくい状態だった。序盤は単独で7番手を走っていたが、シフトミスを何度かしてしまつと、後方の集団に飲み込まれてしまつ。そこで何とか踏ん張り9位でゴール。ジュニアチームの小倉がすばらしい走りを見せトップ争いを展開。堂々3位に入り全日本初表彰台を獲得している。山田も成田と同じ集団を走る健闘を見せていたが12周目にリタイヤとなっている。

ST600クラスデビュー戦となった千田は、好スタートを見せオープニングラップで一気に13番手までジャンプアップ。並み居るベテランライダーとポジションを入れかえながら周回を重ね12位でゴール。ST600クラスで初ポイントを獲得した。

ST600クラスのレースが終わったところから雨が降り始め、ST1000クラスは、ウェット宣言が出され周回数も2周減算の12周で争われることになる。榎戸は、レインタイヤを履きグリッドに向かうが、雨は止む方向に向け、スリックタイヤに交換する。作業違反がありペナルティを受けることになるとは、この時点で分かっていたいなかった。



ST1000 #5 Ikuhiro Enokido

雨の降る中レースはスタート。まずはレインタイヤを装着したライダーが前に行く。榎戸は、慎重に状況を確認しながら走行するが、オープニングラップは、16番手で2周目に突入する。レース中盤になると雨は止み、路面が乾いて来ると一気にペースアップ。みるみるうちにポジションを上げ5番手でゴール。しかし、30秒加算のペナルティを受け、11位という結果となった。



■榎戸育寛コメント

「予選までは、うまく進んでいたのですが、決勝は天気にやられました。もっと早い段階からペースを上げて行くことができたはず。ちょっとリスクを避けすぎました。ただ、スリックタイヤでドライアップのコンディションを走るのが初めてだったので慎重になりました。感触をつかみきれなかったというか、つかみきれたところには、レースは終わっていた感じでした。ただ予選でコースレコードを出すことができましたし、ポジティブな部分もあったので、次回こそ結果を出せるように準備して行きたいですね」

■成田彬人コメント

「今シーズンからSDG Motor Sports RT HARC-PRO.の一員となったことを、うれしく思います。プリチエスタイヤを履くのが初めてなので、公開テストからレースウィークの金曜まで徐々に慣れていき、マシンセットもスムーズに進んでいました。しかし公式予選が始まると位置取りのミスも含めて組み立てがうまく行かず気合いを入れ直してセッション終盤のアタックに入ったのですが、そこでアクセルを開けすぎてしまい転倒し負傷。チームを始め、応援してくださっている皆さんに申し訳ないことをしてしまいました。レースも思うように乗れない状態でしたが、1ポイントでも多く取り、しっかり完走してデータを残して次戦に臨もうと気持ちを切り換えて走りました」

■千田俊輝コメント

「ひと言で言うところ「悔しいST600デビュー戦」でした。予選の順位からは、かなりポジションを上げてゴールできたのですが、予選までのセッションの内容がよくありませんでした。もっとマシンを理解して、セットが進んでいればレース後半で抜かれることは、なかったと思いますし、シングルフィニッシュも可能だったはずですが、もっと調子を上げて次戦 SUGOに臨みたいですね」

■赤間 清コメント

「ライダー自身の調子は、すごくよくて、考えて来たことを実行に移すことができ走る度にタイムを削って行くことができたことは、ライダーとしてポジティブでした。ただ、新型になった Honda CBR250RR のセット出しを、うまく進めることができなかったことは残念でしたが、その状態をカバーするための走りができたのは、長年レースをしています、自分自身の成長を感じました。次戦は、バイクと自分のシンクロ率をもっと上げて、上位を狙っていききたいですね」



このリリースのお問い合わせは
昭和電機株式会社 マーケティング統括部まで



All Japan Road Race Championship 2021



2021 SDG RIDERS

SDG Motor Sports Racing Team HARC-PRO.

2021年シーズンは 4名のレギュラーライダーと 2名の Jr. チームライダーが参戦!!

SDG Motor Sports Racing Team HARC-PRO.

榎戸 育寛 -Ikuhiro Enokido-

Birth : 1998.5.24

All Japan Road Race Championship

Class : ST1000 Number : #5



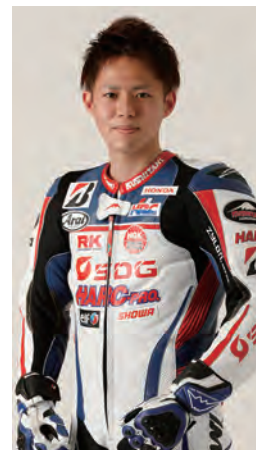
SDG Motor Sports Racing Team HARC-PRO.

成田 彬人 -Akito Narita-

Birth : 1998.2.18

All Japan Road Race Championship

Class : J-GP3 Number : #3



SDG Motor Sports Racing Team HARC-PRO.

千田 俊輝 -Toshiki Senda-

Birth : 2003.8.17

All Japan Road Race Championship

Class : ST600 Number : #35



SDG Motor Sports Racing Team HARC-PRO.

赤間 清 -Kiyoshi Akama-

Birth : 1967.3.8

MFJ CUP JP250

Class : JP250 Number : #71



次世代の全日本を担うトップライダーへの
ステップアッププログラム



開幕戦のツインリンクもてぎでは、Jr.Teamの
小合真士が3位表彰台を獲得!!

“SDG Motor Sports Jr. Team”は、次世代のトップライダーになりうる人材の発掘・育成を目的とし、地方選手権に参戦している18歳以下の若手ライダーを対象とした「ステップアッププログラム」として、2020年に発足しました。今シーズンは、2名のライダーが全日本ロードレース選手権に参戦しております。

SDG Motor Sports Jr. Team

小合 真士 -Shinji Ogo-

Birth : 2005.11.23

All Japan Road Race Championship

Class : J-GP3 Number : #32



SDG Motor Sports Jr. Team

山田 尚輝 -Naoki Yamada-

Birth : 2002.7.16

All Japan Road Race Championship

Class : J-GP3 Number : #15

